

解答

《一》

問一

ロハト

システムの限界ラインを見きわめること。

問二

システム

冒険者が公衆に対し冒険のあらましを報告することで、システムの外側から目撃した現代システムの全体像や、その限界と内実をさらけ出し、自分たちがそのようなシステムの管理下にあることを自覚させるから。

問三

人間が認知している世界

（1）太陽の昇らない闇の中で北極星や月の光を頼りに冬の北極圏を旅した。

（2）現代テクノロジーに頼らず、自力で食料を現地調達しながら登山した。

問四

リアルな経験そのものの身体的表現なので、言論による批評よりも強いインパクトを与えることができ、他人より先にシステムの外に出た経験を示すことで、人々がシステムの外に出た冒険者やシステムの内部に居続ける自身をどう思うか問い合わせる力を持つ点。

問五

a 営「まれて」 b 乗員 c 登頂 d 予期 e 意義

《二》

問一

a ハ b ニ c ホ

問二

仁美 香奈恵

道幅に余裕が無くて誰かが下がらなければならぬが、その誰かは会話に入れないので愛衣しかいないと思ったから。

問三

から。

問四

イ

愛衣が仁美と香奈恵に仲間外れにされていることを疑い苛立ちを覚えつつも、その苛立ちを押さえて込もうとしている。

問五

仁美と香奈恵だけで宿題をしたことを愛衣に隠していたこと。

《三》

問六

毛頭

比類 興奮 歴訪 転回
委細 興奮 投機 歴訪 転回
〔びた〕 創業 〔け〕 〔け〕 〔け〕

問七

可否

破竹

〔み〕

〔み〕